

部 報

平成 13 年度 No.47



北海道大学馬術部

馬術部賛歌

滝沢南海雄君作曲

♩ 80



馬術部賛歌

(昭和三十五年頃)

三浦清一郎君作歌

一

春来たれば 大地光る
銀の遠山 夢花々たり
高らかに 今ぞ嘶け！
われら駿馬のほまれあり

二

時来たれば 旗をかざせ
青雲の旅路に 意気軒昂たり
高らかに 今ぞ嘶け！
われら駿馬のほまれあり

三

雲流れて 旅路遙か
青春の孤杖 泥濘はばめど
凜然と 進みて行かむ
駿馬のほまれあるかぎり

北大！ 北大！ お、我が母校
われら駿馬のほまれあり

目次

部長より ～背筋の美しい馬乗りを目指そう～

前主将より

会計報告

戦績報告

活動報告

北大水産馬術部活動報告

OB ～全日本学生王座決定戦に優勝した頃の馬術部～

馬匹紹介

卒部にあたって

部員紹介

OB名簿

現役部員名簿

広告

編集後記

背筋の美しい馬乗りをめざそう

北大馬術部部长 市川 瑞彦

馬術大会の会場に歩いて近づいていくときは、観戦者に過ぎない私でも気持ちが次第に高揚していくのを感じる時である。練習馬場に近づいて行くとき、遠くからなので誰が乗っているのかわからないが、乗っているのは誰だろうかと思えることがある。複雑・高度な運動をしているのなら気になるのは当たり前だが、そうではなく馬場の外周を手綱を伸ばして常足をしている時などもそうなのである。きっと背中の中の線が印象的なのだと思う。日常的に大学の馬場などでも、何年生の誰だろうと思って近づいてみると下級生だったりすることがある。そんなときは彼も上達したなあ実感するときである。

背筋が美しいということは、もちろんスポーツ科学的には正しい姿勢がとれていてバランスがいいということであろうが、それだけではないように思うのである。馬乗りとして自分のものをもっているぞという自己表現であり、馬や自分に対する自信とか誇りとかを表現しているように感じられるのである。私は、このような精神的な意味合を含めて「背筋の美しい馬乗り」をめざしてほしいと思っている。

幸いなことに、今日選手として輝かしい実績をもつか、指導者として経験や理論のある優れた指導者に教わる機会は決して少なくはないように思う。またビデオなどの映像で見る機会も多くあると思う。しかし、我々の環境では、残念ながらそういう人に長期間毎日手取り足取り指導してもらうことはできない。また、当たり前だが、せつかくの指導が自動的に根付くわけではない。指導の成果をあげるには、我々の側にも

- 1) 指導者が言っている内容を自分のものとして咀嚼して理解する力、
- 2) 正しいと思ったら定着するまでやり続ける忍耐力

などが要求されているのだと思う。それでは、そのような力をつけるにはどうしたらいいのだろうか。これはむずかしい問題だが、私は日常の練習で

- 1) 各自が当面克服すべき課題を明確にすること、
- 2) 他の部員と討論や批判をし合いお互い高めあうこと、
- 3) 感覚的にばかりでなく（馬術書を読むなどして）論理的にも考えること、

などがあげられると思う。一言で言えば、自分のバックボーンを形成することであると思う。細くても骨ができれば、必要なところをより太くしていくことも可能になるだろう。馬術は馬と乗り手が共同して行うが故に、馬の品種・能力・個性、乗り手の技術・目標・信念などが組み合わさって、表現が多彩である。したがって、表現の中に含まれているより普遍的な要素を抽出する力が要求される。下手をすると、多くの著名な指導者の言説の海を漂っているうちに、ただただ時間が過ぎていくことになりかねない。

「肉をいくら重ねても骨にはならない」と思うがどうだろう。しかし、考えてみれば、これは何も特別なことではなく諸先輩が実行してきたことに他ならないと思うし、我が部の環境が変わらない以上絶えず心しなければならぬ問題であろうと思う。

(2002. 2. 12)

【前主将から】

杉山 賢治

特に多くのことを言うつもりはありません。自分なりには現役中に教えたいことは教えたつもりでいます。機会があれば思い出してください。

部活を強くするためには何が必要なのか。もちろん馬と人です。現状はこの問題に直面しています。新馬やエース馬をいかに育てるか。その乗り役の技術と部員数の確保。これらが当分の課題ではないでしょうか。しかし、できるところから、やるべきことから、つまり今受持った馬の調教や後輩の指導を着実に行うのが本当の近道でありあるべき姿ではないでしょうか。ぜひがんばってください。

会計報告

収入

部費		505,000
アルバイト	モモセ	360,200
	鷺田商店	757,200
	明治飼料	60,415
	生協	58,400
	岩見沢RC	138,000
	朝日新聞社	22,150
	その他	388,520
大会運営		1,315,216
補助金		1,934,600
JRA		1,932,294
合計		7,471,995

会計担当 吉川幸江

支出

飼料	1,414,164
薬品	531,284
装蹄	1,104,000
電話	221,823
馬具・備品	42,622
作業	168,708
車輛	684,077
輸送費	352,106
後援会	215,705
事務	64,504
登録	379,450
交通費	355,068
雑費	199,661
合計	5,733,172

☆戦績報告☆

●対東北大学定期対抗戦（於 東北大学， 4月1日）

参加選手 岡村 佐賀 武井
 総合成績 引き分け
 馬場 2勝1敗
 障害 1勝2敗

●国立七大学総合体育大会（於 東京大学， 4月7,8日）

参加選手 杉山 山本 山口
 優勝 京都大学
 準優勝 東京大学
 3位 名古屋大学
 4位 北海道大学

●第29回半澤杯記念馬術大会（於 北海道大学， 5月3,4日）

◇一般馬場馬術第2課目競技<市川杯>				得点率
1位	岡村	北陽	北大(2)	50.0%
2位	吉田	ユーフォー	酪農学園大	49.0%
3位	三浦	シルフィー	フロンティア乗馬クラブ'	48.4%
4位	吉川	北楓	北大(3)	45.6%

◇一般馬場馬術第3課目競技<齋藤杯>				得点率
1位	三上	トリアングレイ	フロンティア乗馬クラブ'	51.9%
2位	山本	北凌	北大(4)	48.6%
3位	森	スーパージャッジ'	酪農学園大	47.2%

◇複合馬術競技<太秦杯>				馬場減点	余力減点	総減点
1位	安田	ユーフォー	酪農学園大	74.60	21.25	95.85
2位	近藤	チャレンジ'8	酪農学園大	88.40	15.25	103.65
3位	山本	北凌	北大(4)	78.20	55.25	133.45
	木村	北鈴	北大(2)	75.60	棄権	
	国井	リッチステート	北大(3)	79.60	棄権	
	堀内	北斗	北大(3)	80.00	棄権	
	杉山	北蒼	北大(4)	89.40	棄権	

◇障害飛越競技 100cmクラス <河田杯>				減点	JumpOff
1位	伊藤	フータレス	札幌競馬場	0	4
2位	田淵	ユウハク	酪農学園大	0	8
3位	小野	ハロン	RCメインフィールズ'	0	9
14位	杉山	北蘭	北大(4)	18	

◇同 90cmクラス <小池杯>				減点
1位	堀内	北斗	北大(3)	0
2位	榊	マイネルディンブル	札幌競馬場	0
3位	松井	岩竜	モモセライディングファーム	0
13位	木村	北鈴	北大(2)	8
	山本	北陽	北大(4)	3反E
	国井	リッチステート	北大(3)	落馬E

◇ 同 80cmクラス			減点	
1位	谷	マイネルデインブル	札幌競馬場	0
2位	長谷川	ジャストサバスカ	札幌競馬場	0
3位	越田	ハンエイハレト	札幌競馬場	0
7位	尾崎	シュネル	北大(6)	0
13位	寺島	北凌	北大(2)	9.75

◇クロスハ-障害飛越競技				減点
1位	川崎	北楓	北大(6)	0
2位	尾崎	シュネル	北大(6)	0.5
3位	吉川	北楓	北大(3)	5
4位	山本	北陽	北大(4)	21
5位	佐賀	北鈴	北大(2)	32.25

●三大学定期戦 (於 酪農学園大学, 5月13日)

参加選手	武井 竹田 寺島
馬匹	スーパージャッジ チャレンジ8 フェサントカレン
優勝	北海道大学
2位	帯広畜産大学
3位	酪農学園大学

●第15回北海道新緑馬術大会 (於 ノーザンホースパーク, 5月26、27日)

◇一般馬場馬術第2課目競技			得点率	
1位	村上	ブリシラ	札幌乗馬倶楽部	59.0%
2位	館谷	セレス	モモセライディングファーム	56.3%
3位	池戸	ブリシラ	北星乗馬クラブ	54.0%
7位	吉川	北斗	北大(3)	49.4%
9位	杉山	北蒼	北大(4)	46.8%
12位	高島	北陽	北大(2)	43.8%

◇一般馬場馬術第3課目競技A班			得点率	
1位	荒井	エアシヨータン	ノーザンホースパーク	57.7%
2位	市橋	月花	酪農学園大	51.0%
3位	岡田	コハノコール	モモセライディングファーム	50.7%
4位	山本	北陽	北大(4)	50.4%
8位	加藤	北鈴	北大(3)	46.8%

◇ 同 B班			得点率	
1位	岩崎	ア-ストレマー	ノーザンホースパーク	55.5%
2位	館谷	セレス	モモセライディングファーム	53.8%
3位	大塩	エアシヨータン	ノーザンホースパーク	52.6%
8位	堀内	北斗	北大(3)	51.7%
12位	山本	北凌	北大(4)	48.3%

◇一般標準障害飛越M級C競技			減点	JumpOff	
1位	釣田	柏嶺	帯広畜産大	0	0
2位	輪嶋	プリンスファイター	ノーザンホースパーク	0	0
3位	川北	ピッツァ	ノーザンホースパーク	0	0
	山本	北凌	北大(4)	2反E	
	杉山	北蘭	北大(4)	2反E	

◇L級B標準障害飛越競技(2)一般初心者の部				減点	JumpOff
1位	服部	ショルダーチャーシ	ノーザンホースパーク	0	0
2位	香山	ジャストアドラマ	ノーザンホースパーク	0	0
3位	三方	零	帯広畜産大	0	0
11位	堀内	北斗	北大(3)	4	
15位	杉山	北蒼	北大(4)	11	
	加藤	北鈴	北大(3)	2反E	
	武井	北凌	北大(2)	2反E	
	木村	リッチステート	北大(2)	落馬E	

◇Lクラススピード&ハンディネス競技(一般の部)				成績時間
1位	下田	テキーラ	十勝柏友会	57.20
2位	黒野	リッキー	ノーザンホースパーク	57.43
3位	松井	タニノブレロ	モモセライディングファーム	58.37
10位	山口	北凌	北大(3)	107.26

●第36回北海道春季馬術大会(於 ノーザンホースパーク, 6月15、16、17日)

◇一般馬場馬術第2課目競技A班				得点率
1位	村上	オンワードステラ	札幌乗馬クラブ	54.3%
2位	中森	アバランシー	フロンティアRC	51.7%
3位	大久保	北鈴	北大(3)	49.5%
5位	杉山	北蒼	北大(4)	47.3%

◇同 B班				得点率
1位	大城	ウイルダネス	オーフルホースコミュニン	57.3%
2位	池戸	オンワードステラ	北星乗馬クラブ	54.1%
3位	永見	クリアー	モモセライディングファーム	53.2%
8位	竹田	北陽	北大(2)	46.0%

◇一般馬場馬術第3課目競技B班				得点率
1位	鈴木	エアジョーダン	ノーザンホースパーク	55.9%
2位	大城	童梨夢	オーフルホースコミュニン	55.7%
3位	大城	ウイルダネス	オーフルホースコミュニン	54.9%
7位	国井	北陽	北大(3)	48.0%

◇一般ツースター総合馬術競技・馬場馬術課目競技・A班				得点率
1位	石川	柏雲	帯広畜産大	56.30%
2位	釣田	柏嶺	帯広畜産大	56.00%
3位	安田	ユーフオー	酪農学園大	52.50%
5位	堀内	北斗	北大(3)	50.30%
6位	木村	リッチステート	北大(2)	49.50%
12位	杉山	北蒼	北大(4)	42.50%
13位	山口	北旋風	北大(3)	42.30%

◇同 B班				得点率
1位	山本	北凌	北大(4)	52.5%
2位	安藤	フィッシャーマン	酪農学園大	51.3%
3位	藤田	トニーザプリンス	酪農学園大	50.7%
6位	山本	北陽	北大(4)	50.3%
9位	加藤	北鈴	北大(3)	46.9%

◇一般L級A標準障害飛越決勝競技				減点	JumpOff(予選順位)
1位	杉山	北蒼	北大(4)	0	0 (27位)
2位	岩坪	岩竜	モモセイテイニングファーム	0	0 (16位)
3位	久保田	エックスオー	十勝柏友会	0	0 (10位)
open	山口	北旋風	北大(3)	8	(32位)
	杉山	北蘭	北大(4)	4	(13位)
	堀内	北斗	北大(3)	8	(28位)
	山本	北凌	北大(4)	25	(37位)

◇一般L級B標準障害飛越競技 (3)初心者一般の部				減点	JumpOff
1位	三方	柏嶺	帯広畜産大	0	0
2位	鈴木	レナ	中札内RC	0	0
3位	大道	零	帯広畜産大	0	4
5位	木村	リッチステート	北大(2)	0	落馬E
	加藤	北鈴	北大(3)	2反E	
	吉川	北凌	北大(3)	2反E	
	尾崎	北陽	北大(6)	2反E	

◇一般Lクラススピード&ハンディネス競技				成績時間
1位	久保田	アブサン	十勝柏友会	58.06
2位	喜田	レナ	中札内RC	58.35
3位	西原	サンレミ	旭川乗馬倶楽部	60.05
11位	杉山	北蘭	北大(4)	65.85
15位	杉山	北蒼	北大(4)	67.38
30位	山口	北旋風	北大(3)	111.95

●第73回北日本学生馬術選手権 (於 岩手大学, 7月8日)
参加選手 杉山 山本

◇一回戦				得点
1位	庄司		岩手大学	348
2位	畠山	オリエンタシ	帯広畜産大	335
3位	杉山		北大(4)	279
	澤村		岩手大学	失権

◇一回戦				得点
1位	山本		北大(4)	341
2位	佐山	ル・グランジュバル	帯広畜産大	325
3位	川上		北里大	313
open	三浦		岩手県立大	300

◇準決勝				得点
1位	庄司		岩手大学	353
2位	赤間	アップルリバー	酪農学園大	321
3位	市橋		酪農学園大	309
4位	山本		北大(4)	303

●第37回北日本学生馬術女子選手権 (於 岩手大学, 7月8日)

参加選手 国井 吉川

◇一回戦				得点		
1位	佐藤		酪農学園大	315		
2位	郷家	シンクライト	弘前大	306		
3位	吉川		北大(3)	298		
4位	水谷		東北大	272		
◇一回戦				得点		
1位	村田		帯広畜産大	333		
2位	国井		北大(3)	283		
3位	及川	ヘル	岩手大	280		
4位	平田		弘前大	276		
open	松原		岩手県立大	246		
◇準決勝				得点		
1位	国井		北大(3)	317		
2位	郷家	ル・グランシュバル	弘前大	290		
3位	澁谷		東北学院大	270		
4位	林		北里大	263		
◇決勝				馬場得点	障害減点	得点
1位	釣田		帯広畜産大	427	28	399
2位	村田		帯広畜産大	344	0	344
3位	国井		北大(3)	338	7	331
4位	郷家		弘前大	325	3	322

●第26回北海道馬術大会 (於 ノーザンホースパーク, 7月21、22日)

◇一般馬場馬術第3課目競技A班				得点率	
1位	鈴木	エアジョータン	ノーザンホースパーク	54.1%	
2位	大塩	アーストレーマー	ノーザンホースパーク	53.9%	
3位	加藤	北鈴	北大(3)	53.7%	
10位	山本	北凌	北大(4)	52.2%	
◇内国産馬障害飛越M級C競技(予選)				減点	JumpOff
1位	輪嶋	プリンスファイター	ノーザンホースパーク	0	0
2位	安田	フェザントカレン	酪農学園大	0	0
3位	松井	タニホレロ	モモセライディングファーム	0	0
16位	山口	北旋風	北大(3)	12	
20位	杉山	北蘭	北大(4)	19	
	山本	北凌	北大(4)	2反E	
◇L級A標準障害飛越競技(1)一般の部				減点	JumpOff
1位	鈴木	ユウバク	酪農学園大	0	0
2位	藤田	テキーラ	十勝柏友会	0	4
3位	大林	ルパン	オーフルコミュニケーション	0	4
18位	木村	リッチステート	北大(2)	8	
	堀内	北斗	北大(3)	2反E	

◇L級B標準障害飛越競技(2) 初心者一般の部				減点	JumpOff
1位	小滝	ジャストドラマ	ノーザンホースパーク	0	0
2位	道谷	ハイタッチ	千代田牧場	0	8
3位	今井	リズムブルース	ノーザンホースパーク	0	経路E
	杉山	北蒼	北大(4)	2反E	
	加藤	北鈴	北大(3)	2反E	
open	尾崎	北彗	北大(6)	0	

◇Lクラススピード&ハンディネス競技(1) 一般の部				成績時間
1位	川北	ワキンス	ノーザンホースパーク	61.98
2位	黒野	リッキー	ノーザンホースパーク	63.71
3位	小野	キルクイ	RCメインフィールズ	65.27
	堀内	北斗	北大(3)	2反E

●第37回北日本学生馬術大会 (於 ノーザンホースパーク, 8月8~13日)

◇学生賞典障害飛越競技				一走目	二走目	総減点
1位	田中	福駿	福島大	0	0	0
2位	島山	柏嵐	帯広畜産大	4	0	4
3位	釣田	柏嶺	帯広畜産大	0	4	4
4位	市橋	ステーション	酪農学園大	8	0	8
5位	石川	柏雲	帯広畜産大	0	8	8
6位	藪	柏海	帯広畜産大	4	8	12
7位	庄司	バリアント	岩手大	4	15	19
8位	山口	北旋風	北大(3)	8	12	20
9位	高島	ウメニシキ	酪農学園大	16	8	24
10位	喜多	ウラン	岩手大	12	16	28
	杉山	北蘭	北大(4)	16	落馬E	
	堀内	北斗	北大(3)	3反E	3反E	

◇学生賞典総合馬術競技				調教減点	耐久減点	余力減点	総減点
1位	釣田	柏嶺	帯広畜産大	123.33	0	5	128.33
2位	藪	柏海	帯広畜産大	120.00	0	10	130.40
3位	清水	緑冠	酪農学園大	123.00	0	10	133.00
4位	近藤	チャレンジ'8	酪農学園大	132.33	0	5	137.33
5位	安田	ユーフオー	酪農学園大	129.00	0	10	139.00
6位	高島	ウメニシキ	酪農学園大	136.67	0	10	146.67
7位	喜多	ウラン	岩手大	141.33	7	20	168.13
8位	岡田	アップルリバー	岩手大	136.33	19	29	184.13
11位	山本	北凌	北大(4)	123.67	0	83	206.67
	木村	リッチステート	北大(2)	127.67	68	3反E	
	杉山	北蒼	北大(4)	134.67	3反E		
	加藤	北鈴	北大(3)	121.33	5反E		
	山口	北旋風	北大(3)	135.33	3反E		

◇第3課目馬場馬術競技				
1位	沢村	オリエンタラン	岩手大	52.3%
2位	喜名	アークウルス	東北大	51.9%
3位	西	リブラ	岩手大	51.9%
4位	国井	北陽	北大(3)	51.6%

◇新人新馬障害飛越競技				減点	JumpOff
1位	末沢	ヒアッシュ	福島大	0	0
2位	中山	グレースカップ	東北大	0	0
3位	古賀	緑冠	酪農学園大	0	0
4位	寺島	北凌	北大(2)	0	0
5位	吉川	北彗	北大(3)	0	1
9位	山本	北陽	北大(4)	0	8
open	杉山	北彗	北大(4)	0	0
open	堀内	北蘭	北大(3)	0	0

●第15回北海道秋季馬術大会 (於 ノーザンホースパーク, 9月15、16日)

◇一般馬場馬術第2課目競技				得点率
1位	大城	ウイldグネス	オーフルホースコミュニ	56.50%
2位	山口	北陽	北大(3)	54.40%
3位	山田	ホワイトブーツ	ノーザンホースパーク	52.90%

◇L級A標準障害飛越競技 (1)一般の部				減点	JumpOff
1位	鈴木	ユウバク	酪農学園大	0	0
2位	寺下	緑冠	酪農学園大	0	1
3位	下田	トチアトラス	十勝柏友会	0	4
8位	木村	北凌	北大(2)	0	17

◇M級C障害飛越競技				減点	JumpOff
1位	市橋	ステーション	酪農学園大	0	4
2位	松井	タニノホレロ	モモセイディングファーム	0	4
3位	安田	ユーフオー	酪農学園大	4	
10位	山口	北旋風	北大(3)	24	

◇L級B標準障害飛越競技 (2)一般初心者の部				減点	JumpOff
1位	広瀬	柏雲	帯広畜産大	0	0
2位	服部	モチョホス	ノーザンホースパーク	0	0
3位	尾崎	北彗	北大(6)	0	0
9位	吉川	北蘭	北大(3)	0	0

◇Lクラススピード&ハンディネス競技 (1)一般の部				成績時間
1位	大林	ウエルマジック	オーフルホースコミュニ	72.14
2位	林	アブサン	十勝柏友会	72.53
3位	相田	モンテウエルテ	モモセイディングファーム	78.7
5位	杉山	北蘭	北大(4)	87.14
11位	木村	北鈴	北大(2)	106.01
13位	吉川	北蘭	北大(3)	144.62

●第22回山下杯・河田杯記念馬術大会 (於 酪農学園大学, 10月8日)

◇L級A標準障害飛越競技				減点	JumpOff
1位	斉藤	ウメシキ	酪農学園大	0	0
2位	沢村	緑冠	岩手大	0	0
3位	真島	ユウバク	酪農学園大	0	0
	堀内	北斗	北大(3)	3反E	

◇L級B標準障害飛越競技				減点
1位	加藤	リッチステート	北大(3)	0
2位	田淵	ペレロフォン	酪農学園大	0
3位	斎藤	緑冠	酪農学園大	0
4位	加藤	ユウハク	北大(3)	0
6位	寺島	北斗	北大(2)	0

◇ジムカーナ競技				減点
1位	樋口	ウメシキ	酪農学園大	0
2位	野間	コイン	酪農学園大	0
3位	吉田	琴音	北水	0
8位	森久保	リッチステート	北大(1)	0
	馬場	リッチステート	北大(1)	落馬E

●全日本学生馬術競技大会（於 JRA馬事公苑， 10月31日～11月3日）

◇第51回全日本学生賞典障害飛越競技				一走目	二走目	総減点
1位	古平	アートアフライ	法政大	4	0	4
2位	成瀬	ブルーライアン	青山学院大	4	4	8
3位	弓良	明豊	明治大	0	8	8
	山口	北旋風	北大(3)	44	3反E	

●第37回全日本学生馬術女子選手権大会（於 JRA馬事公苑， 12月14、15日）

参加選手 国井

◇一回戦			得点
1位	間宮		387
2位	越山	東楓	343
3位	国井		337
4位	永原		334

きよた

やきとり 居酒屋

ボリューム満点！コンパ150名様までOK！

札幌市北区北17条西5丁目北向き

当店誕生日、ご利用の方には
カラー写真・粗品をさしあげます。

TEL 011-747-7000

【主将】

山口 剛司

部員がひとつにまとまったときは、北日でよい結果が生まれると思う。昨年、ただ1つしか権利が取れなかったのも、部が全然ばらばらだったのが一番の原因だと思う。今やらなければならないのは、部を1つにまとめること。3年目、2年目、1年目、全ての代が1つにまとめられれば、活動全体に活気が芽生え、北日でも良い結果を残せると思う。

【副将】

寺島 良

9月の代替りの時点では副将は堀内兄でしたが、3月に入ってから、2年目にももっと部のことについて責任を感じてもらいたいという理由から副将は2年目に降りてきて、僕が担当することになりました。今シーズンに入るにあたり、部員数は3年目5人、2年目6人、1年目3人と大変少なく、部員一人一人に対する責任・負担は非常に大きいと思います。確かにこの人数で馬が10頭以上いるという状態では馬の管理は非常に大変だと思います。しかし、一人一人の馬に対する意識はその分大きくなり、実力も向上するはずです。そして競争意識を持ち、まずは同学年を、その後は上の学年をも脅かそうとするぐらいになれば部全体もレベルアップします。やはり結果を出さないことには後になって、よかったとは思えません。結果が出るような日々の練習・活動がしていけるように盛り上げていきます。

【主務】

国井 千恵子

現在の主務の主な仕事は

①道馬連主催の競技会運営

②部と学生部とのパイプ役 　　です。

①については最近部員の減少に伴い、個人の負担が大きくなってきています。実際、主管担当の競技会のときは運営であわただしい中、選手となったり、馬付をしたりと、1人何役もこなさなくてはならず、一番大切なことであるはずの馬のケアが満足にできないことがままありました。来年度以降、何らかの改善を考えていかななくてはいけないと思います。

②については、現在の部室・厩舎が築3年ながら、主に電気系統のいたみが出てきており、何度かお願いしてもらっています。また、今、18条から部室をつなぐ道が農場の端に作られており、その件に関しても色々と便宜をはかっていただいています。

【馬匹】

木村 滋之

昨年度は、馬のケガや跛行が多く、それによって調教計画が大きく狂ったり、調整がうまくいかない馬もいて、実際に昨年度の部の活動に大きな支障をきたした。

今年度はさらに馬の頭数も減り、また、高齢馬が多いという状況で、部員一人一人が馬匹やチーフ、サブ、上級生まかせではなく、自発的に、北大の馬たちがケガ・病気でなく過ごしやすい環境を常に考えて行動して行ってほしい。

また、現在非常に部員数が少なく夕当に来る人数も最小限しかおらず、馬のストレスがたまりやすい状況となっている。人数が少ないからと言って馬の扱いが疎かになっていいというわけではなく、この状況の中でも馬のケアが万全にできるよう管理方法をみんなで考え工夫していきたい。

【飼料】

武井 亮

現在馬に与えている主な飼料は燕麦・ふすま・ヘイキューブ・塩・リンカルの5種類で、毎朝運動している馬には、およそ燕麦 20・ふすま 10・ヘイキューブ 2.50を1日3回朝・昼・夕に、塩・リンカルは大さじ1杯を朝・夕に、これらをお湯でふやかして与えている。またその他に乾草を1回に付き1.5kg程度、朝・昼・夕・夜と計4回与えている。

飼料は大量購入したほうが安価ということで明治飼糧さんから買っています。

また乾草は、長岡さんからバイト代としていただいています。今までは北大農場からも乾草・稲ワラを堆肥の代わりにしていただいていた。しかし、馬場が農場から離れたことによって稲ワラ・堆肥の運び出しに手間がかかるようになったこと、ボロはすぐには堆肥として使えないこと、また農場が学校付属のものではなくある程度独立したことなどにより、現在は稲ワラ・乾草はもらえない状況です。その分を補うために例年より長岡さんから大量に乾草をいただいたり、競馬場開催での余分な麦乾をもらうなどしていますが、早急に安定した安価な供給ルートを確立せねばなりません。また、堆肥をもらっていただける方も探していくことになります。

飼料の仕事には部外との関係を築いていくのが一番の方法でしょう。長岡さんや、ボロを回収していただいている方々への感謝の気持ちを忘れずにがんばっていきたいです。さらに、農場との関係も何とか復活させようと現在取り組んでいるところです。

【会計】

吉川 幸江

部員の減少に伴い、アルバイト収入が減っています。アルバイト収入の多くを占めるJRA開催も、今までの数をこなすことができずに来年からはアルバイト人数まで減らすことになると思います。また、馬場移転から3年が経ちますが、設備の不十分な点なども多く、未だに出費が続いています。

このように収入は減少する一方、支出は変わらずにあるのが現状です。現在はこれまでの貯えがありますので大丈夫とは思いますが、これから先何か対策を考えなくてはなりません。

部員の会計に対する意識を高め、無駄を省き、アルバイトを増やすと同時に、是非とも、OBの方々からの御理解と御支援を賜りたいと思います。

【後援会】

佐賀 由美子

現役部員とOBとの交流の場として、例年行われる4回のコンパとOB戦、初乗りを行っています。しかし、現在、札幌在住のOBの方も多くなくコンパなども寂しいものになっています。

北大馬術部OBは全国に散らばっており、すべての方と交流をもつことは困難なことなのですが、できる限り多くのOBの方と交流を保ちたいと思います。また、H6年卒の倉本さんが開設して下さっている北海道大学馬術部後援会ホームページ (<http://www4.big.or.jp/~nono/hokudai/>) でも、皆様との交流を図ることができますので是非掲示板にご参加ください。

最後に、OBの皆様からの寄付をいただき、ありがとうございます。札幌へ起こしの際には、ぜひ部室にお立ち寄りください。

北大水産馬術部活動報告

小野 元也

北大水産馬術部は平成 5 年以降休部状態となっていましたが、平成 12 年秋に活動を再開しました。

現在は J R A 函館競馬場乗馬センターで、平日は朝 6 時から、休日は 9 時から週 5、6 日ペースで練習、指導をいただいています。部員数は、4 年生 4 名、3 年生 9 名の計 13 名で、自馬はいませんが、去年は貸与馬の試合等に参加してきました。

ここではまず、再発足以降の活動内容を紹介させていただきます。

平成 12 年 10 月 東山乗馬クラブで乗馬活動開始。
北大水産馬術部同好会として団体発足。

小野が 1 年遅れて函館に移行。昨年ストレートで移行していた同輩の川辺とともに、以前北水馬術部が活動していた市内の東山乗馬クラブを訪ねる。以前のように騎乗料を作業で賄うことはできなかったが、格安の月謝で乗馬活動させていただく事になる。
北大水産学部体育会での馬術部登録は実質消滅しており、新規登録は 4 月だったため、「同好会」として団体を発足させる。

11 月 新入部員加入。

吉田、平野ら札幌では馬術部に所属していなかった新人が加入。

12 月 活動場所を J R A 函館競馬場乗馬センターへ移す。

同センターへはそれまで、経験者のみ土日に通わせていただいていたが、11 月に、団体として活動するなら初心者も含め平日から乗せてもらえるとお話をいただいた。自馬を持てる可能性はなくなるが、活動のしやすい環境、部活存続の安定性を考え、東山乗馬クラブにお許しをいただいて活動場所を移した。

3 月 北大馬術部(札幌)で合宿。

本学馬術部のご協力で、北水生 5 名が 1 週間合宿をさせていただく、貴重な体験を積んだ。

6 月 北大水産馬術部として北日本学生馬術連盟に加盟。

(全日本学生馬術連盟には加盟できず)

過去の先例と、北日本地区関係者の温かいご理解により、北大水産馬術部は、北日本内では、札幌の北大馬術部とは別の、独立団体として認可される。

ただ全日本学生馬術連盟では、一大学一団体制のもと、認可の申し入れは却下された。

これにより、北日では北大水産として、全日として北大として登録されることになった。

7月 北日本学生馬術選手権大会に「北大水産」として参加。

10月 新入部員加入。

モモセダービーに参加。

山下杯・河田杯記念馬術大会に参加。

北大OB戦にて北大・北水対抗戦を行う。

全員未経験者ながら、多くの新入部員が加入した。

また、モモセライディングファーム、酪農学園大学馬術部、北大馬術部のご協力で、それぞれ上記の試合に貸与馬で参加することができた。

11月 岩手県民馬場馬術祭に参加。

岩手大学馬術部のご協力で、上記試合に貸与馬で参加することができた。

以上がこの1年半の活動の概況です。再発足後の北水馬術部は、スタイルもスタンスも本学の北大馬術部とは異なるものです。函館競馬場の多大なご好意のもと、ほとんど無償に乗馬活動を行うことができ、また練習等の強制参加もなく、個人の都合に寛容な部活です。これらのことで生じるマイナスの面もあるでしょう。しかし、慢性的な人員不足に悩んできた北水馬術部が途絶えることなく続くこと、様々な目的を持った人が馬と馬術が存在する環境を経験しながら仲間と活動していくことを考えて、私たちは今の形に部を作ってきました。

無論やっていかなければならないことはたくさんあります。私たちの活動が函館競馬場はじめ、多くの方々のご理解、ご協力によって成り立っているのは明らかで、私たちは常に感謝の意を持ってその関係を大切にしていかななくてはなりません。また、より多くの方々との関係を広げ、殻に閉じこもることなく活動を広げてゆく心構えも大切でしょう。もしこれらのことを忘れ、自分たちを省みることを忘れ自己中心的と

なり、与えられた環境にあぐらをかけば、どんな組織でも崩壊の道を歩むでしょう。

自分たちのやるべき事を忘れることなく、多くの人が馬と馬術の楽しさを共授できる継続的な組織を目指してこれからも努力していきたいと思えます。

関係者の皆様には、これからも温かいご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

チキンをどうぞ

モモセ

札幌市清田区美しが丘3条3丁目

TEL 881-0470

全日本学生王座決定戦に優勝した頃の馬術部

昭和 39 年度卒 恩田 正臣

昭和 30 年代前半の馬術部は黄金期であった。

昭和 27 年に北海道国体が行われ、そのために用意した競技馬が、国体終了後に北大に 7~8 頭払い下げられ、この馬たちが活躍していたからである。鎌田正人氏、千葉幹夫氏、森本悌次氏、大場善明氏らが毎年国体や全日本で優勝し、学生馬術のレベル以上の競技成績をあげていた。(もっともこの時代は、一般人の馬術レベルがあまり高くなかった。)

私が入部した昭和 34 年ごろから繋養馬の高齢化が始まっており、北標が事故死し、北斗・北潭は筋力が落ち、北楡も往年の力はなくなっていた。最後まで力を残したのは北嶺だった。

富山国体で森本氏が六段飛越で優勝し、続いて熊本国体で大場氏が中障害飛越で勝ち、国体 2 年連続優勝を達成した。その翌年(36 年)の秋田国体では、大場選手の代役で急遽私が出場することになって、六段飛越で 6 位入賞した。これが 20 才近い北嶺号の最後の入賞歴となった。

その 2 週間後に仙台で行われた総合馬術の学生自馬選手権大会では、2 日目のクロスカントリーで疲労困憊し、固定障害を飛越できずに、壊しながらも突破しようとする根性を見せて走ってくれた。その、いじらしいほどのファイティングスピリットに涙が出てきて、「もういい。よくがんばった!」と北嶺の頸をたたいて下馬をして歩き出した。残り 3 分の 1 は下りのコースで、仙台の街に灯りが点り始めていた。坂道を引き馬で歩きながら、その景色が涙でにじんできたのを今でも思い出す。

その当時、ライバルの帯広畜産大学は、リガレットや碧雲(あやめ)など北海道国体の遺産はあったが、自然馬術(イタリー式)を取り入れた調教により、クモキリや竹若、鳥華など新しい戦力を育てていた。これは畜大の伝統になり、その後も受け継がれているようだ。現在も、学生の手で育てた障害馬が、学生の総合馬術や障害の二回走行競技で活躍している。

乗馬の施設や頭数が、今ほど多くなかった昭和 30 年代の学生馬術の大会は、貸与馬による試合が主流であった。学生馬術の全国大会は 3 大会あった。学生自馬大会(総合馬術)以外は学生選手権(馬場と障害)、学生王座決定戦(障害の 6 名団体戦)のいずれも貸与馬によって行われた。

私たちの学年は、最後まで続けた部員が多く、当時はやった西部劇映画からとって、マグニフィセントセブンと称し(実際は 9 名いたので、7 番目は誰か不明確)、昭和 37 年度はどの試合でも貸与馬の団体戦は負けたことがなかった。

学生王座決定戦は、東北・北海道地区の予選があり、帯広畜産大学が昭和 35・36 年と勝ち進み、そのまま全日本学生王座を 2 連覇していた。37・38 年は北大が予選を勝ち、全日本学生王座に出場した。

今回、部報の原稿依頼を受けたのは、北大が全国優勝した37年の大会の事を書くように、とのことであった。

残念ながら、この大会の個々の試合経過については、あまり記憶にない。しかしながら、その年の3月から大会に目標を置いて準備していたのは事実である。前年の予選で畜大に惨敗したことで、その畜大が全国優勝に輝く場面を、全国放送のテレビで見せられた時から始めていたといえるかもしれない。

春休みを利用し、東京の各大学の馬術部に親善試合を申し込んで受け入れてもらい、情報収集と実戦による試合経験を積んだ。これには、当時学馬連が毎年行っていた馬事公苑での学生馬術講習会が役に立った。各大学の主将クラスが参加するこの講習会で、各大学とのパイプができたからである。

王座決定戦に出場するために東京に遠征してからも、各大学から情報を提供してもらうことができた。特に学習院大学の筒井君からは、関東地区予選の全試合の記録を2日間も貸していただいたうえに、本大会で使われる全頭の馬の特徴と、その騎乗方法をアドバイスしていただいた。

これらの情報をもとに、各対戦校毎の選手と馬配を堀川芳男君と2人で行った。6名戦の場合、2〜3頭は難馬がいて、それが勝負を決することになる。前段に乗るか後段に乗るかも、大きなかけひきの要素である。この大会でマグニフィセントセブンの素晴らしかったのは、前段でも後段でも、その馬なりの能力を発揮させて、ベストに騎乗したことである。玉沢一晴、志水一允、原重一、清水洋、岡田征至みんなベストの結果を出した。その中でも、堀川君と私が全試合で勝点をあげ、優勝校から選ばれる最優秀選手候補になった。全勝同士で対戦した最終戦で大喰いした私が結局選ばれたが、チーム全員が優秀選手だったと今でも思っている。

この大会の1週間後に個人戦の全日本学生選手権が行われた。私にとっては、この大会のほうが印象に残っている。

16名が勝ち残って、決勝の行われる日の朝刊各紙の見出しは、「恩田ら順当に勝ち進む」となっていた。貸与馬のトーナメントで勝ち進み、4名が決勝戦に駒を進めた。決勝戦は4人が4頭の馬に乗り、その総減点で優勝者が決定される。3頭ずつ終わったところで減点4でトップ。2位以下は減点12以上。何人かの記者が、気の早いコメントを求めてきたりした。最後の4頭目は、日本大学の桜冠という馬で、他の3人とも比較的減点が少なくゴールさせていた。ところが、この馬で3落下し、中央大学の丹羽君に優勝をさらわれてしまった。

「油断」「慢心」。このときの悔しさがいつまでも残り、その後の人生にも少なからず影響しているようだ。

「未達成」「未完成」の気持ちが、私を馬術から離れられなくしてしまったように思う。

今、永い間の夢だった自分の馬場を作っている。敷地内に野外騎乗のできる林があり、競技を目指さない人にも楽しめる施設となる。厩舎は完成しており、今は馬場の造成をしている。この部報が出る頃には、何頭かの馬がトレーニングをしているはずである。「かなやま森林馬事公苑」と命名しようと考えている。北大馬術部の合宿を受け入れることができるような施設にしたいと考えているので、乞う御期待。

北海道大学馬術部のご発展を祈る

馬具専門店



REITSPORT
RUHM

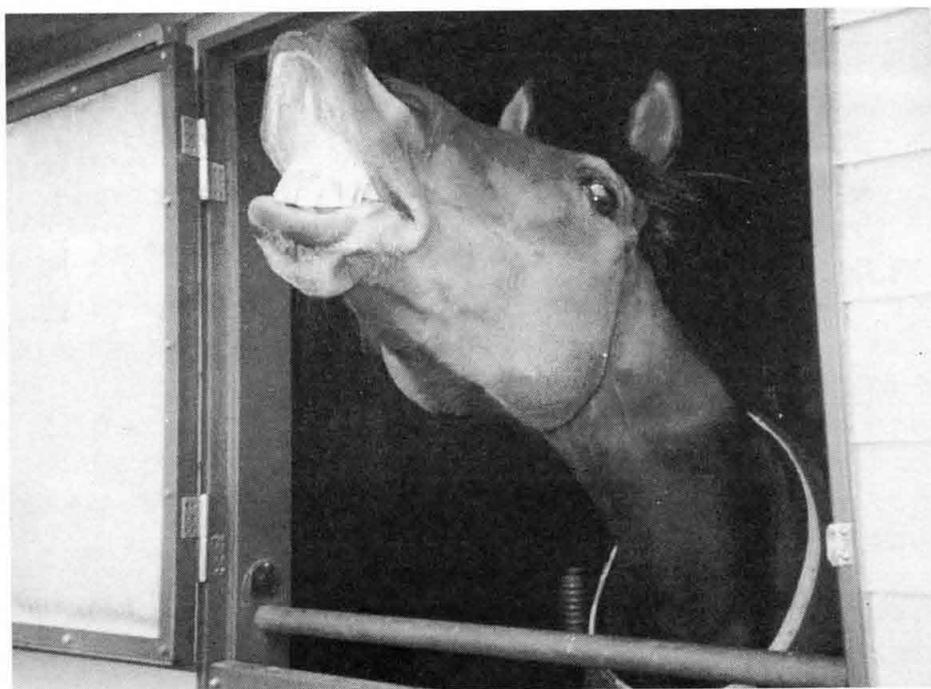
株式会社 ライトスポーツ・ルウム

大阪市西区南堀江4丁目-2-3

〒550-0015 Tel. 06-6533-0777

Fax 06-6533-0778

厩北凌(ハギノレジェンド)厩



北旋風(トルネードダンサー)



調教報告

山口 剛司

全日学が終わった後、森田兄から引き継ぎ僕が乗ることになった。しかし、いざチーフになっても何をすればよいか分からず、しかも何もできず、森田兄は就職活動で忙しく、一人で苦しんでいた。一人で抱え込んでどうしようもなかったのを、尾崎兄や川崎兄に見てもらった。その冬の間言われた印象深いことは、

- ・ 小さく馬をまとめるのではなく、大きく動かす。
- ・ 輪乗りの中で馬をまとめるのではなく、馬がまとまっていくようにする。
- ・ ほかの馬に比べて強い扶助を要する。

の3点だった。

3月に札幌競馬場で行われた親善試合に出た。その際に札幌競馬場の先生方に、馬が前にのめった感じの歩様で歩け、と言われた。このとき、馬が大きく歩いている状態を体感できた。

雪が解けて半澤杯までもうすぐの頃、外乗中の不注意で右後肢にケガを負わせてしまい、半澤杯・新緑馬術大会の二つの大会を棒に振った。春季馬術大会には出場できたが、ノーザンホースパークでの今季初試合だったためLAまでにした。春季馬術大会の課題は、

- ・ 馬を制御できない⇒徐々に速くなる⇒減点が大きくなる
- ・ 経路を廻るペースが分からない

だった。

北日まで残すは北海道馬術大会だけという状況でオリンピック監督の中野善弘氏によるクリニックに参加した。クリニックでは、

- ・ 一番障害を通過するとき、最終障害を通過するときのペースを同じにする
- そのために
- ・ 決められた距離を、馬のスライドに応じて、決められた歩数で行く
 - ・ 障害通過後、前に出すために一度馬をもどす
- そうすることで落下が減る

と、学んだ。

北海道馬術大会では馬のコンディションを考え、フレンドリー・L A・MCにエントリーした。フレンドリー・L Aは満点、とても良い感じで走行できた。MCでは馬をコントロールしようとしすぎて前進氣勢を殺し、3落下だった。不満の残る結果だったが、北日が近いこともあり、L Aは辞退した。

そして北日。

フレンドリー…もう思いっきり行くしかない。迷いを捨てて元気良く走った。

結果満点。しかし、ちょっと迷いがある。

一走目 …細かいことは何も考えず、いいペースで元気良く行く事を心がけた。

結果、2落下。

二走目 …昨日と同様に行こうと心がけたが、一走目よりペースが速く、3落下。

全日への権利獲得。

全日へは北大から1頭しか行けず、畜大と一緒に、山梨に1週間行きそれから馬事公苑に行くことになった。山梨では全日で馬の力を十分に出しきれるよう、コンディションを整えることを第一に考え調整した。

いよいよ全日。

入厩後は、全日4度目ということもあって、意外に落ち着いていた、

<フレンドリー>フラットワークから調子は良い。まず速歩でクロスを1回、次に垂直90・100・110cmを1回づつ、そして駆け足で垂直110cmを1回、120cmを1回、オクサーで110・120cmを2回飛んで入場した。練習馬場では落ち着いていたが、本馬場に入りベルが鳴ると急に興奮した。満点で帰ってくるぐらいの気持ちで望んだが、ペースが速く、コントロールできず、3落下。

<一走目> 個人での出場ということで、一走目で失権してしまったら二走目に進めない。とりあえず絶対に帰ってこようとだけと思い、臨んだ。フラットワークでは動くには動くものの、昨日に比べて心なしか馬の反応が悪い気がしたが、杞憂だと思いあまり気にしなかった。昨日と同じように障害を飛び本馬場に入場。

この時、頭は帰ってくるぞという思いでいっぱいだった。最初から最後まで馬なりで、帰ってくるには帰ってきたが、10 落下・1 反抗の減点 44。

<二走目> 昨日は頭がいっぱいになって馬なりで行ってしまったので、人が余裕をもちしっかりコントロールすることを考えて走行した。中野さんクリニックで教わった通り、障害飛越後にバランスをしっかり後ろに戻し、それから前を出す。しかし結果は前進氣勢をそいでしまい、10 番障害で3反失権。馬が前に出ないため、馬より人のバランスが先に行ってしまった。右回転してすぐのオクサー障害で前に出せずに失権した。鞭を使えば行っていたと思う。

こうして全日は二走目を帰って来れずに終わってしまった。

トルネードとの1年間は終わった。しかし、来シーズンも再びトルに乗ることになった。もう一度北日で権利を取り、全日に置きっぱなしにしてきたものを取り戻しに馬事公苑に行かなければいけないと思う。楽しみにしてもらいたい。

🐎北鈴(スズロード)🐎



調教報告

加藤 幸作

スズに一年乗り総合を目指しましたが、調教審査では5位だったものの、耐久では5反抗失権、オープン出場した余力では6番障害を3反抗とふがいない結果でした。スズはメンタル面が弱く、見慣れないものや強い扶助に対して体をこわばらせるところがあるのですが、きちんとさせる事は何としてもさせる、楽にさせることは楽にさせることがうまくできずに馬との折り合いを欠いたのが失敗の原因だと考えます。スズは馬体も大きく、楽に飛ばせばコンビネーションで120も飛べるので、人のせいでおきる問題を解決すれば北日で上を狙えます。また、今年の問題点として、練習メニューに計画性がなくダラダラ運動してしまったことがあります。来年は方向性を定め、総合のそれぞれの審査に対して人馬共に一つずつ問題を克服していきます。

<調教審査>

北海道馬術大会のころから少しは馬を楽に歩かせるようになり、速歩ではだいぶいい姿勢で肢も動くようになってきました。駈歩では馬をこわばらせないように楽にし、脚をしっかりと使ってリズムを作らないとすぐに嫌がって走ろうとするため、普段から楽に発進しバランスよく乗り、拳が先にならないように脚でリズムを作ることが大事です。また、駈歩からの移行、特に常歩への移行で手綱を使うとカリカリしてイレギュラーが入るので、脚とバランスでの減却、移行後に前をフッと軽くすることが必要です。横運動ではまだまだ体を硬くしてしまうので、普段の練習から横運動をどんどん取り入れ、うまくいったらよくほめてやって体をほぐしていきたいです。特に後肢旋回は中軸旋回になるので、人が脚と拳をバランスよく使えるように注意を払わなけれ

ばなりません。

<耐久審査>

スズは野外のコースではそれほどこわばらず、基本的に野外は人が一つ一つ冷静に判断できれば反抗もあまりしません。今年は人の野外の経験が少なく、走った状態でスピードコントロールができず障害に突っ込んでしまったせいで反抗されました。普段から野外のペースでも拳でバランスをとらないように、2ポイントで安定した姿勢、そのうえで脚とバランスで馬を起こせるようにしなくてはなりません。慣れない所では一度障害を見せておかないと恐がるので野外の馴致が必要です。

<余力審査>

今年は障害が大変問題であり、北日前の大会では2反抗失権やLB失権もありました。物を見て止まることが多かったのですが、練習中に人のバランスが悪く飛越についていけず着地の際にハミがあたったり、鞍にドンと尻をついたりしたことで馬にとって苦しい練習だったことも響いているでしょう。今後、コンビネーション中心に人馬がバランスを保って楽に飛べること、いろいろな物を入れてもリズムを壊さずに体を楽にして飛べることを重点にし、人馬共に自信を持って飛べるようにしていきます。また、経路走行中に回転で肩を張っているので、フラットワークでも、特に左手前で、肩から外に逃げないよう輪乗りで内包脚と外包手綱で正しい内包姿勢をとるのが大事です。

馬とケンカするのではなく、人の扶助をしっかり伝えて人馬が自信を持って北日に臨めるように、来シーズンはよく考えて乗っていきます。これからも北鈴をお願いします。

厩北蘭(アーネストヒダカ)厩



調教報告

杉山 賢治

これは何年も言われ続けていることではあるが、シーズンを通して一番注意したことは馬体についてである。すでに19歳であり背中や腰については不安材料となっていた。またセン痛になりやすいということも不安材料であった。しかしこの一年、とくにシーズン中は歳を感じさせない状態であったと思う。そのことは、なぜ調子がよかったのかはわからないが、人馬ともにプラスであった。今回はシーズンを通しての過程を振り返ることで調教報告とかえてみたいと思う。

秋自馬前は筋力を落とさないこと、人は脚を前に流さないことを目標としてトレーニングを行った。また障害についてはコンビネーションを中心に行った。OB戦においてもそうであったが、この時期の問題は経路走行中に徐々に早くなってしまうことだった。

冬の時期は左手前において内包姿勢をとれないという問題にあたった。また雪が積もっていたこともあり、この時期においては再度基本事項、特に常歩を中心とした運動(肩うち・後肢旋回)を行った。冬の時期の練習として準備運動をきっちりとできるようにすること。いい状態・いい運動を心がけて練習をめざした。

雪解けの時期は輪のりを中心とした運動をおこなった。特に左手前において極端な内包姿勢をとるようになってしまふことがしばしばであった。またハミを気持ちよく受けてくれない状況であった。この時期は特に体が昔より硬くなり、また馬のフラストレーションも溜まってきていたと思う。また非常に神経質になっており、他の馬と

ニアミスをするときなど興奮する状態が続いていた。

シーズンの前半における障害練習のポイントは飛越後左によれることであった。また飛越において、つまって飛ぶことが問題点でもあった。しかし駆歩はこの時期に落ち着いてできるようになった。

シーズン後半においてはリズムとペースを中心に考慮してフラットワークを行った。この時期は推進もできるようになったが、踏み切りが合わないときや、ペースが速いときなどの障害は依然として課題であった。そのため、少し大きく、ゆったりとした馬の動き求めた練習、特に人の拳について気を配った。

北日本においては、問題点は人が不安になり、馬をあせらせてしまったことにあると思う。また高さの低い障害においては反抗はないが、1メートル20を超えた段階から踏み切りが合わないと、拒否することがしばしばであった。この失敗の一番の原因はいかに馬を御することができなかつたかにあると思う。

この失敗を糧にし、後輩には有意義な練習をおこない是非結果を残してもらいたい。

YAMAHA

お酒と米のことなら

(株) 今 鷺 田 商 店

札幌市豊平区美園5条4丁目1-19 カトーレジョリ1F

電 話 (代) 821-6248

フリーダイヤル 0120-431045

よいさけとよいこめ

北蒼(トワライトブルー)



調教報告

杉山 賢治

今回の北日本は非常に不甲斐ない結果であった。馬とのコンタクトが取れず、馬場・障害とも決して見栄えのするものではなかったと思う。しかし、シーズン途中の大会においては障害の調子のよい時期もあった。この時期は馬もやる気があり、障害にたいして嬉々として飛んでいた。馬の馬体も軟らかく、体を大きく使い飛んでいたことを覚えている。この時期のブルーは非常に乗りやすいものであった。今後の騎乗者に対してはいかにそのような状況にするか、そのような練習をするかがポイントであると思う。

参考までに調教報告の内容を紹介したい。

- 9月25日 頭と尻尾をぶんぶん振る。とにかくフラットワークをやっていく。
- 10月14日 首を振って、背中を曲げて運動している。調馬策中心。
- 11月28日 先週はよくなってきていたが、今週は崩れる。頭の位置を気にして運動がめちゃくちゃになる。調馬策で内方に傾かせない。推進をして、前を気にさせない。外包脚をうまく使うことが大切。
- 12月11日 最近、輪のりでふらつく。
- 1月18日 ハミ持つと硬くなり、首をぶんぶん振る。
- 2月26日 カづくではなく、推進した上で首を下げさせたい。騎座がかなり違っていたので、騎座で馬を制御する。

- 3月18日 障害は悪くない。動かすことで首を下げる。土の上で乗るといい。
- 3月25日 障害を準備運動に入れたほうがいい。馬がふらふらする。
- 4月1日 常歩後、速歩でキャバレッティーと小さい障害をやる。前に出なくて困った。障害はしっかり跳んでいる。
- 4月25日 ハミを引っ張る。人がひっぱって頭を下げさせるという悪循環。
- 5月20日 マシになった。障害はキレがあるが、障害前ふらふらする。
- 5月30日 (新緑の反省)随伴がついていけず、体を起こして次にいけなかった。
止まるときがわかってきたので、つぎにつながる。
- 6月19日 (春季の反省)勝った。馬に行く気があった。あとは、馬場。

ブルーに関しては自分もかなりの心積もりで行った。彼に乗るということは時として難しいものであったが勉強になったと思う。ほんとに真剣に行い部活(大学)のほぼすべてを彼とともに過ごしてきたと思う。また多くの人に支えられて騎乗してきた。乗ってもらった人、教えてもらった人はとてもたくさんいる(松下さん・八巻先生・高橋先生・中野さん・輪島さん)。とくに川崎兄には何から何までお世話になった。とても感謝の気持ちで一杯である(ありがとうございます!)。それもすべては多くの人に愛されていたブルーのお陰だと思う。他力本願ではないが、後輩には是非ブルーと共に東京にいつてもらいたい。(タローがんばれ!)

北大から一番近い自動車学校

ホームページが新しくなりました!

<http://www.hokkaidochuo.co.jp>

札幌市東区北25条東1丁目1-17

TEL (011) 711-3344

☆北大正門前よりシャトルバス運行

☆北24条駅から徒歩5分

☆日曜換定実施中

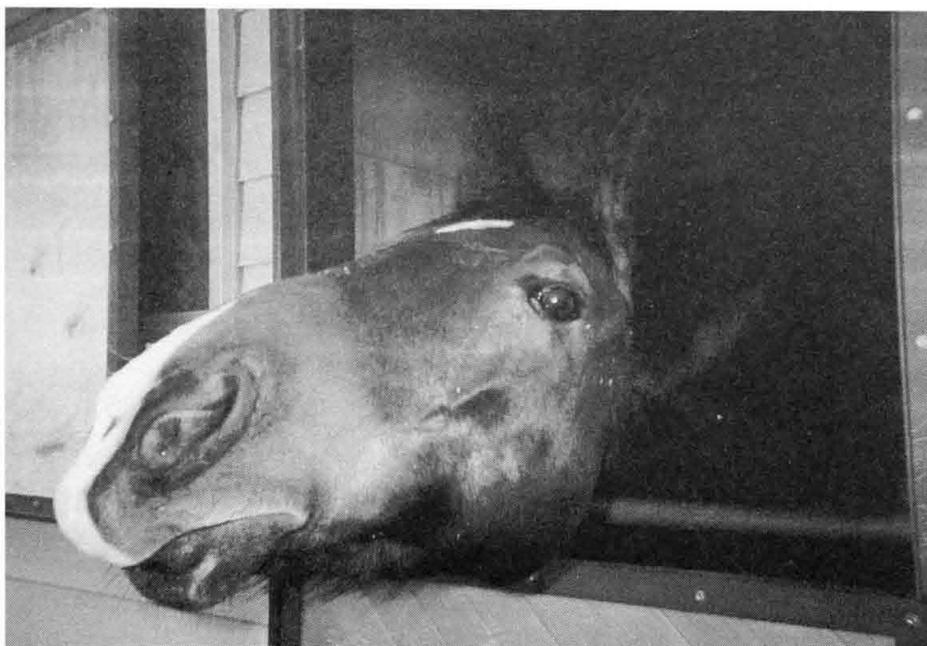
☆朝9時から夜10時まで教習

☆担当指導員制採用

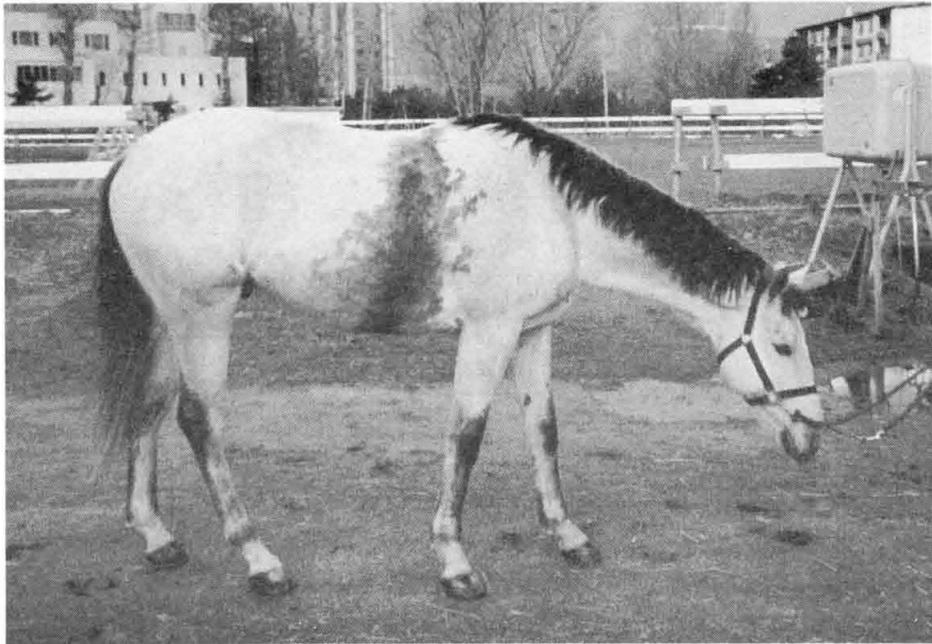


北25条 北海道中央自動車学校

厩北陽(ドリームグリーン)厩



會北彗(メジロゲネシス)會



⑤ 北斗(ユウログレイ) ⑤



調教報告

堀内 太郎

北斗号は乗馬クラブメインフィールドから来た、よく調教された古馬で、僕の前は井口兄が2回走行で全日学に行っており、調教報告と書いたものの、調教したというより馬に勉強させてもらったという感じです。したがって、この場では僕がこの馬から学んだことや、この馬についてわかったことを書こうと思います。

北斗号は障害をやると興奮しやすく、障害に向かって突っ込んで行ってしまうところがあり、またハミにかかりやすく、のめりやすいため、最初の頃は走られてばかりで、どうやって抑えようか、どうしたら走られないか、ということばかりが頭にありました。そのため、手綱ばかりきつくなり、馬は背中を使わず、後肢の踏み込みはいつも甘い状態の運動を続けてしまいました。さらに、障害前最後までコンタクトを保っておけない、先飛びをしてしまうといった人の悪い癖も加わって、7月頃になると、特に幅のある障害を拒止するようになってしまいました。今まで当たり前のように飛んでいた馬が簡単に止まるようになってしまったため、人は焦ってしまい、いいペース、いいリズムがどういったものなのかよくわからなくなっていたように思います。そのような状態で、7、8月の大会は散々な結果に終わりました。

9月の代替わりで馬配が変わり、次の乗り手に引き継ぐまでもうしばらく乗ることになったので、馬がどうしたらいいリズムで気持ちよく飛べるのかを考えながら練習をしました。そのときやってきたことを書きます。

いいペース・リズムで運動するために、準備運動で何をしたらよいか。

● 十分に体をストレッチする

北斗号は体が非常に硬く、コズミやすいため、馬体をよくほぐしてやらないと動きが小さくなってしまいます。特に右は十分に時間をかけました。常歩で肩を内へなどの横運動をじっくり行うことで、馬体がほぐれるのとともに脚反応もよくなります。このとき気をつけたのは、馬がハミにかかってこないようにあごをしっかりとゆずらせて運動することです。この段階でハミにつかかってくるようだと速歩・駈歩とどンドン馬との摩擦が増えていってしまいます。

● 脚反応を良くする。

体さえ動くようになれば前進氣勢は出やすいのですが、勝手に前に行こうとするので、脚で一步一步後肢を踏み込ませていくように運動を行いました。輪線上で脚に反応して馬体が屈曲し後肢が踏み込んでくるようになるまでリズムよく運動することが大切だと思います。

● 馬のバランスをおこす。

速歩・駈歩で馬が騎手の脚に反応して動いている状態になっていれば、減却の時及び歩度をつめる時に人がバランスバックすると馬はかなり敏感にそれに反応してくれます。これを繰り返すことで、馬はバランスバックし、ハミに突っかからなくなってきました。

準備運動がうまくいき、馬が大きく動けば動くほど、バランスはおきてくるはずで
す。

障害に関しては、まず突っ込んでいかにしないようにする必要があります。そのためにコンビネーションを、前を持たずに落ち着いたペースで飛ばせるというのを繰り返しました。あまり首や背中を使って飛ばないので、使わせるようなコンビネーションや障害をやるのがいいと思います。

駈歩飛越は馬が飛越出来る体勢を整えてやることを考えて行いました。

- ◆ のめりやすいので、回転でしっかり起こしてアプローチに向ける。
- ◆ アプローチに入って、馬が突っ込んでいかにないように我慢させる。
- ◆ 馬が伸びないようにコンタクトを保った上で、いいリズム、いいペースで向かう。
- ◆ つまって飛ばせない。

これらのことができれば、馬は体を使って飛ぶことができるので、120cmまでは楽に飛べると思います。

最後になりましたが、井口兄をはじめ、小野さん、中田さん他OBの方々には北斗号に騎乗する上で大変お世話になりありがとうございました。結果は振るいませんでしたが、この馬から学んだことをきつと次に生かせると思います。この馬は乗り手しだいだと思うので、次の騎乗者はぜひがんばって下さい。

ユースケー年間ありがとう。

🐎リッチステート🐎



調教報告

木村 滋之

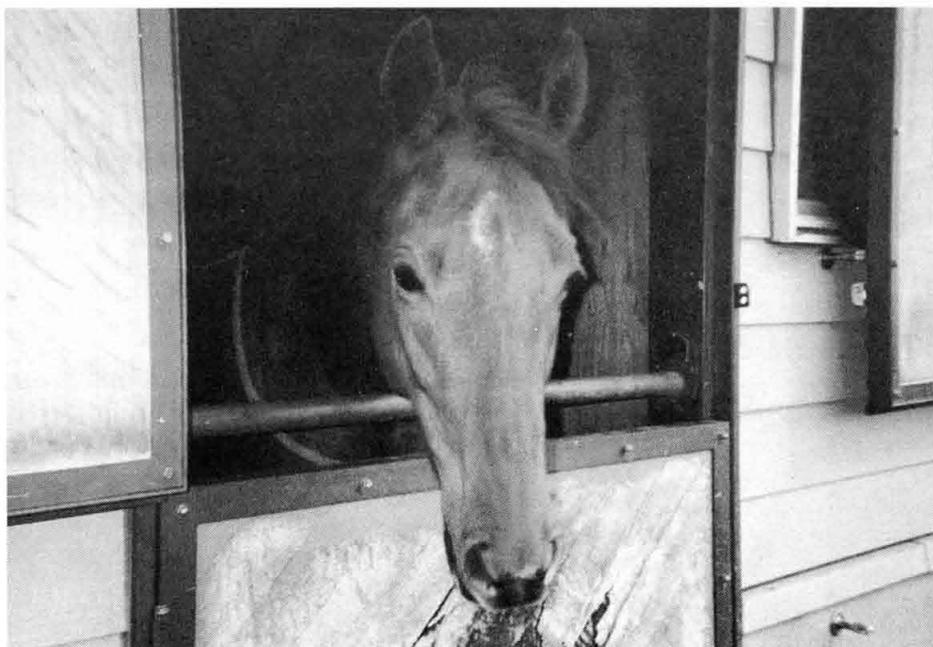
僕がリッチステートに乗るようになったのは新緑馬術大会の後で、北日まで2ヵ月半しか残されておらず、その間肩を跛行させてしまったこともあり、調教といえることは全くできず、とにかく北日を万全の調子で迎えるよう管理しました。馬はもうベテランで馬場も野外も障害もほとんど問題はなかったようです。

馬場では、肩を大きく動かしていい速歩をするので点数は取れるはずですが、本番になると少しかかり気味になり、うまく受けとめられないと運動がばらばらになってしまいます。

野外では馬がかかってしまうのでスピードコントロールが難しく、北日では速いまま飛び降りバンケットに向けたため拒止されてしまいました。

障害では、馬が近くから踏み切れているのに人が障害前で追ってしまい、ハミをはずして馬のリズムとバランスを崩してしまいました。この馬の場合、とにかく人はペースを整え障害前では静かに待つことができれば、MCでも十分満点で廻って来れます。

🐾 ファンキーバブル 🐾



🐾ヤスノインディアン🐾



入厩報告

吉川 幸江

ヤスノインディアン号は、12月2日に北大に入厩しました。

佐賀競馬からやってきた、鹿毛の6歳、セン馬です。

性格は大変おとなしく、人間に対して従順で、学生でも扱いやすい馬だと思います。

彼は馬が苦手で、馬場にたくさん馬がいて走り回っていたりすると心臓はばくばくして、キャーキャー言っています。放牧でも他の馬と一緒に出ているよりも、一人でポーッと草を食べているほうが好きなようです。

現在は、OBである尾崎兄に調教をお願いしています。

これから北大馬術部の花形になる事を期待しています。

🐾グリーンザクロス🐾

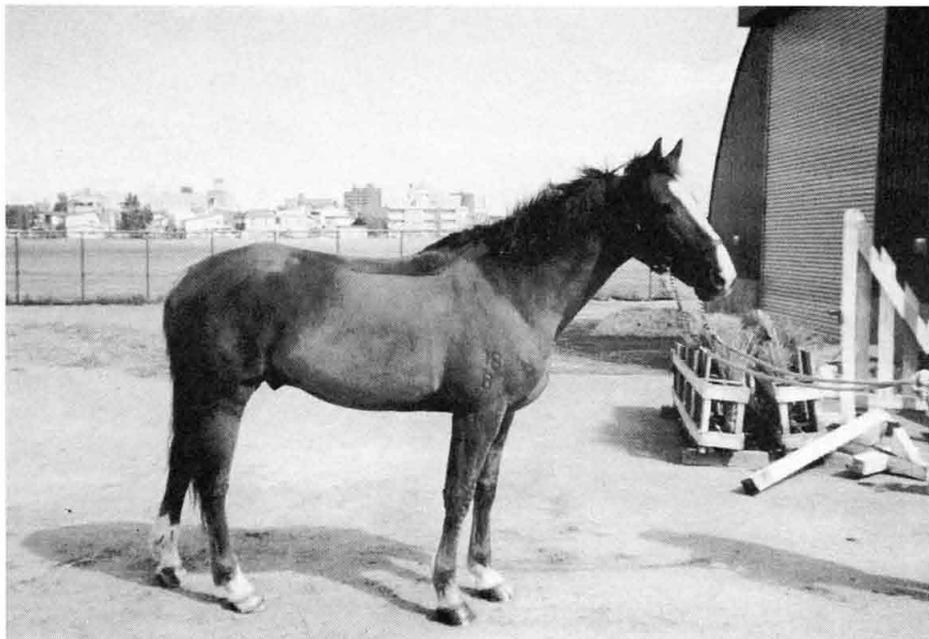


入厩報告

加藤 幸作

グリーンザクロスはOBの中田さんの紹介でグリーン牧場からいただきました。少し小さめで亀甲が低いのですが、筋肉のつきはよく、基本的に素直です。まだ本格的に運動を始めていないのですが、少し肢を気にして動きがぎこちない感じがあります。学生向けの性格していると思うので、運動できるようになってからどんな馬になってくれるか楽しみです。

㊦ ウッドバインパトリック ㊦



入厩報告

高島 渉

ウッドバインパトリックは53年卒の本城さんの紹介でJRA競馬学校より3月14日に入厩しました。脚元に多少、不安を抱えているということで今シーズンは無理をしない予定ですが、能力はあるので来シーズンの活躍が期待されます。

有限
会社 **菅原写真商会**

パスポート写真

カメラ・カラープリント特急仕上

3分間写真

各種証明写真

北22条西4丁目 ☎ 716-2662

サラマンダー



入厩報告

武井 亮

サラマンダーは53年卒の本城さんの紹介で、ウッドバインパトリックと共に千葉のJRA競馬学校から3月14日に入厩しました

18歳と高齢で小柄ですが、大変おとなしく乗りやすいので、部員たちのために活躍してくれると思います。





待合の奥には広い小上がりがあり、のんびりとくつろぎながら食事を楽しめる

みゆきちゃん 定食

超ボリューム満点でお手頃価格の定食が充実

500円台でお預けいっぱいになる定食が豊富に揃っている。一番安い定食は生玉納豆定食380円で、すべての定食日替わりに野菜3~4品が付く。ご飯は unlimited にしても値段が変わらず、食後はコーヒー、麦茶が無料で飲み放題のサービスがうれしい。

〒	札幌市北区北20西6
店名	みゆきちゃん
TEL	011-756-3410
営業時間	朝11:00~夜11:00
定休日	不定
料金	380円
予約	なし
その他	札幌255駅から徒歩5分

倉北祥(シンコウスピリット)倉

離厩報告

寺島 良

4月15日 スピが岩見沢乗馬クラブに行きました。

長い間、北大で活躍し、みなさんから愛されてきましたが、いろんな事情があつて離厩してしまいました。

もし、岩見沢のほうへ行かれましたら会いに行ってください。

倉シュネル倉

離厩報告

大久保 和馬

シュネルはメインフィーズRCへ離厩することになりました。もとよりのんびりした馬だったのですが、となりのパロン(北牙)と共に、一層、下唇をゆるませています。

今までシュネルの面倒を見てくださった方々に御礼申し上げます。

倉北楓(カッティングダーク)倉

離厩報告

吉川 幸江

北楓号こと、カッティングダークは9月10日に北大馬術部から静岡の平沢RGに行きました。北大に入厩してから約2年間在籍し、川崎兄に調教をお願いしていましたが、後半の1年間は肩の故障などであまり運動する事ができず、離厩した一番の理由は故障が多い事がありました。

彼は子供のような性格で、誰にでも好かれる素直な面を持っているので静岡でもかわいがられている事と思います。

1年間、北楓号の馬責につかせてもらい多くの経験、勉強をする事ができました。

これからも元気で幸せになってもらいたいと思います。

ありがとう、かつお!元気でがんばれ!

卒部にあたって

●杉山 賢治(前主将)●

部活を卒業して見えてきた自分がいます。

いろいろなことがありました。

というか、いろいろなことを仕出かしてきた？

でもそれは馬が好きだったからです。

部活が強くなり、馬が元気に幸せに生きて行ってほしかったからです。

1・2年生はしっかりと上級生の言うことを聞きましょう。

(うるさい？上級生はわかってない？)

そんなことはありません。

きっと君たちが上級生になったらわかるよ。

あと練習は貪欲に、常に向上心を。

3・4年生はしっかりと下級生を教育？してください。

嫌われるぐらいでいいのでは。

馬が幸せに生きることのできる環境をつくってあげてください。

上級生が今後の(何十年後も)馬術部を築きあげる基礎をつくるのですから。

あと自分が上手くなることと、馬を良くする事は忘れてはいけないよ。

来年の北日は是非応援に行きたいとおもっています。

成長したみなさんに会えることを期待しています。

平成14年2月1日(明日は外国だ・・・)

●山本 裕己(前馬匹)●

4年間ありがとうございました。

部員紹介

3年目

◇ 加藤 幸作 (副務・北日幹事、理) ◇

馬術部に入ってすでに3年が過ぎた。

毎日毎日馬と戯れて過ごし、僕の時計は早送りで時を刻んだ。

これからは北大生として、止まったままの時計も動かしていかないと…

—無くなっても無くなっても、すぐに復活するものってないんだ？

—がんばるのもいいけど、もっと柔軟に。

—スズを見るあの目は、ちょっとエッチな目。

◇ 国井 千恵子 (主務、獣医) ◇

・ 馬術部員です。

・ 獣医医学部生でもあります。

・ 実験のとか、解剖とか、実に好きです。

・ 馬の体のしくみとかにも、ちょっと興味があります。

・ うちの馬たち、みんな大好きです。

—一部のお姉さんの存在。実は…

—姉御肌

◇ 堀内 太郎 (車輦、農) ◇

なぜだろう。でも理由なんか知らない。

ズイブンと、多分、すごく好きなんだろう、僕は。

—お酒を飲むと豹変する。すぐひっぱたくという。

—毎日がバレンタイン、金メダルGet!!

◇ 山口 剛司 (主将、理) ◇

部員の、

部員による、

部員のための

部活をめざし努力することを誓います。

—テンションの高低が激しい。

—長所：馬のことをよく考えている。一途、理想を持っている。

おしゃれに気を使う。

短所：馬のことしか考えていない。我が道を行く。
ええかつこしい。やや口先行型。
—モー娘。のライブはやめておいたほうが・・・

◇ 吉川 幸江（会計、文）◇

吉川は、料理が下手です。人前で話すことも苦手です。基本的に頭が悪くて行動は不可解です。

あまり良い所がないようなのですが、馬術部に入って楽しく生活させてもらっています。

皆様、ありがとうね。

—秘められたパワーは馬術部随一です。

いや、秘められていないパワーも随一です。

・・・・・・・・・・・・・・・・

どこにしようと居場所がすぐにわかるほど存在感のある人です。

2年目

◇ 木村 滋之（馬匹、農）◇

もう少し注意深い人間になろうと思います。

—彼は artist。馬は、彼が乗ると、芸術的な動きをする。酔ったときは、素晴らしいビートの呼吸を刻みながら眠る。無意識のうちに、芸術的な地図を描くことも…？

—最近、冷たくなって僕は悲しいです。

◇ 佐賀 由美子（後援会、獣医）◇

馬術部に入ってもうすぐ2年。なんというかあつという間だった。友人に馬術部について話すと皆口をそろえて大変だねという。そう言われれば確かにそうなのかなと思うけど、続いているのは面白いからだ。どこが面白いか説明しようとしても、自分の中ですら上手く言葉にまとめられないのは結構悔しかったりする。落ち込むことだって多々あるし、そんな時は自分を納得させる理屈が欲しいなと思う事もある。でもいいんだ、面白いとか好きって言うのは理屈じゃないんだ、感性なんだ。

今日なくして明日はなし。ということで今を精一杯やっていけたらいいなと思ってやっています。

—得意技 寝る、どこでも寝れる。

—いつも力が入ってる。いつも力んでいるように見える。

もっとやわらかくなってみたら？

◇ 高島 渉 (馬備、水産) ◇

“勉強”という言葉思い出せるようにがんばります。

—皮肉屋でオヤジギャグ大好き。

—一人でニヤニヤしているかと思うと、

相手にしてもらえずさみしそうな顔をする甘えん坊。

—一部室の住人。よく昼の上に転がっている。

◇ 武井 亮 (飼料、獣医) ◇

いつでも本気で生きていきます。

生まれてきたこと、生きてきたこと、

自分が自分であることを祝いたいから。

両親、家族、友人、恋人そして自分と交わってくれた人々みんなに

感謝し、そして愛し続けます。

人との繋がり自分自身そのものなのだから。

—ときどき、尊敬したくなる。でも、よく、マジで?と思う。

—笑顔が汚い。

◇ 竹田 敏宏 (大会会計、獣医) ◇

かなり昔のマイブームは陰陽師。阿部清明カッコえ〜。

ひと昔前のマイブームは、コンビニおでん。(オススメはセブンのウインナー巻き)

こないだまでのマイブームは、最近種類が増えたポテチ。(やっぱりフレンチサラダがいい。)

そして今は、光ファイバー通信。(ブロードバンド時代をつっ走るぞ。)

その次は……。楽しみは尽きない。

—うれしそうに、はにかむと幼くなります。

—関西弁強し

◇ 寺島 良 (副将、経) ◇

毎日毎日好きなことしかやっていない。僕はとても幸せものです。

あとは彼女がほしいな—。

—どこから見ても“おやじ”。

童顔なのが、なお引き立たせている。

—馬術部の貴公子。キムタク似。もっと頭を使いましょう。

—馬券師の素質は残念ながらいようです。早く飽きなさいよ。

—メンクイらしい。

いつもテラカーを乗り回している。交通ルールは守ってね。ホントに怖いから。

1年目

◇ 馬場 紘子（記録・衛生、獣医）◇

馬術部ってかなり体育会系。自分がここまで馬術部色に染まるとは思っていませんでした。

—彼女のかばんには、いつもお菓子が入っています。

—最近目つきが悪くなって、ギロツと睨む。ホントこわい。

◇ 前野 伸策（薬品・部報、農）◇

馬関係の仕事につくためにも部でがんばります。

—雀鬼。

—男は思い切り。

◇ 森久保 夏樹（作業・企画、農）◇

悩みすぎとか考えすぎとかよく言われ、その件でOBと対立したり、さらに1年目だから余計なことを考えるなどよく言われます。

しかし考えて悩まないことが、余計に僕を不安におとしめる。考えて悩むことが我が宿命、それで朽ち果てるならそれまでの男ということだ。

何といわれようとも、やってやるぜ。

—畜大の某〇倉くんと仲がよろしいようで…

—山男といった感じ。

—鉄道のことならお任せ

MEIJI

もう乗り越えどろ。



移行期さうまく乗り越えられれば、もっともっと……。

移行期管理に関するご相談は、是非養牛用飼料専門メーカーである明治飼糧にお任せ下さい。
弊社では、お客様個別の現場事情にあわせた移行期管理方法をご提案させていただきます。

お問い合わせは、最寄りの弊社支店・営業所、または下記のフリーダイヤルまで。

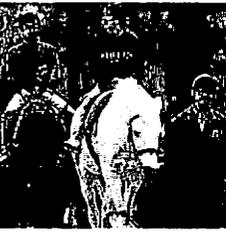
明治飼糧株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-20-4

☎ 0120-49-9141



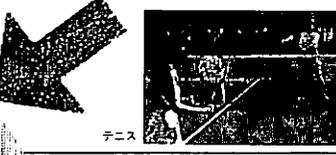
HORSE TREKKING



馬車

観光乗馬(ひき馬)

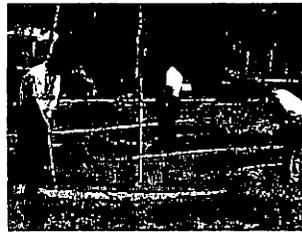
馬を知る、馬に親しむ。
 初心者から上級者までさまざまな形で乗馬を楽しめます。
 環境が整えられています。
 ●乗馬コース(ライディングエリア)
 ●インドア乗馬場、林間コース ●ひき馬 ●観光馬車 ●ポニー広場



RECREATION



サイクリング



パターゴルフ

楽しさ爽快、汗が光るワンダーランド
 ノーザンホースパークでは乗馬のほかにもいろいろなお宝や遊びが楽しめます。
 ●パークゴルフ ●ターゲットボードゴルフ ●パターゴルフ ●テニスコート ●子供広場 ●緑の広場

TASTE



カフェテリア「シャンティ」



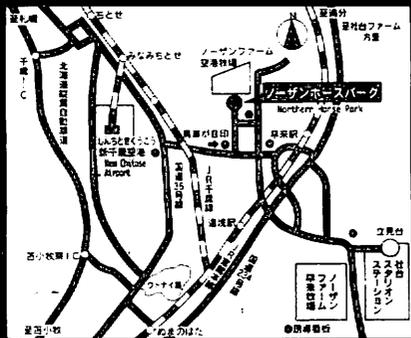
売店



テラス

グルメとショッピング。
 コミュニティランド。
 馬とのふれあいの後は、グルメとショッピングで旅の思い出づくり。お食事はお好きなに合わせて、ごゆっくりお過ごし頂けます。
 ●レストラン ●デザート ●カフェテリア「シャンティ」 ●バーベキューハット「キャロルハウス」 ●テラス ●売店

人と、馬と、
 自然が出会う空間。



新千歳空港より車で15分
 ノーザンホースパーク

〒059-1361 北海道苫小牧市美沢114-7
 TEL.0144-58-2161 FAX.0144-58-2377
 開園時間(夏期間) / 9:00-19:30

※本日より、北海道ノーザンホースパークの公式ホームページがご利用いただけます。

編集後記

平成 13 年度部報としてふさわしい時期に発行しようという目標のもと努力してまいりました。今回、この時期に発行できたことは大変うれしいことと思います。

この部報のために原稿を書いてくださった方々、依頼から締め切りまでの期間が短い中、御協力いただきありがとうございました。広告主の皆様に対しましても、急に話を持ちかけ御迷惑をおかけしました。本当に皆様ありがとうございました。

最後になりましたが、昨年度部報担当の高島兄には力添えをいただき感謝しています。

※ お気づきの点がございましたらご連絡ください。

部報担当 前野 伸策

平成 14 年 4 月発行

発行者 北海道大学馬術部

〒001 - 0023

札幌市北区北 23 条西 12 丁目

北海道大学馬術部

TEL/FAX (011) 737 - 1626

印刷所 北大印刷

